



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2025-2026 R.1テーマ  
よいことのために手を取り合おう

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	小坂雅彦	幹事	町田秀雄	会報委員長 犬竹一浩

### 第1960回例会 2026年4月21日(火) 通常例会

2026年5月12日発行 第1740号

#### 本日のお客様

一柳達朗様(地区米山記念奨学委員会統轄委員長 入間RC)  
 内野 忍様(所沢西RC 会長)  
 徳江和宏様(所沢西RC 幹事)  
 宮崎光正様(所沢西RC 副幹事)  
 木下 精基様(所沢西RC 会長エレクト)  
 野村成良様(株ノア 代表取締役)



#### 会長の時間 小坂雅彦会長

本日は、卓話講師の先生、所沢RC様より4名様、そして来月入会予定の野村成良様に御来訪頂きました。どうぞゆっくりと例会を楽しんでいって下さい。このように多くのロータリアンの皆様をお迎えし、改めて他クラブとの交流の大切さを感じました。例会前に様々な情報交換をさせて頂き、大変勉強になりました。自クラブだけに留まっていますと、どうしても凝り固まった考え方になってしまいます。ロータリアンの皆様、どうぞ遠慮や気兼ねをせず忌憚ない御意見を日高クラブに頂戴出来ればとおもいます。さて、先日開催されました『クラブリーダーシップラーニングセミナー(CLLS)』ですが、担当になっております会員皆様に於かれましては、ご多忙の中ご参加頂きありがとうございました。終日お疲れ様でした。CLLSの開催意義ですが、『国際ロータリーの各クラブの次期会長や幹事などクラブ三役・委員長が、クラブ運営や奉仕活動の進め方、リーダーとしての役割を体系的に学ぶための公式研修セミナー』となっております。通常は地区単位で開催され、年度開始前に次期クラブ指導者が参加します。また開催目的は『次期クラブ会長・幹事・役員との役割理解を深める』『クラブ運営(例会運営、会員増強、奉仕活動)の基本を学ぶ』『地区方針や年度テーマを共有し、クラブ計画に反映させる』



『他クラブ役員との交流を通じて情報交換とネットワークを作る』というものであります。全体的に、従来の「偉い講師の話聞く形式」から、参加者が能動的に学ぶ形式へと転換しています。会員一人一人がリーダーであるという考えに基づいた研修内容であったとおもいます。いずれにせよ、次の年度にどんな活動方針でどんな活動を行っていくべきかを学び、次年度のクラブの活動に反映させていく大切な研修です。ここで学んだ知識を、今後のロータリー活動に活かせるよう、精進して参ります。

～当日の集合写真～



#### 幹事報告 町田秀雄幹事

地区事務所より

・4月ロータリーレートの御知らせ 1ドル160円

## 卓話 一柳達朗様(地区米山記念奨学委員会統轄委員長 入間 RC) ～米山記念奨学事業の概要・意義～



ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは、学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、異文化理解、コミュニケーション能力への意欲や能力に優れている点が含まれます。そして米山奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されます。年間の奨学生採用数は約 950 人、事業費は約 15 億 643 万円（2023-24 年度決算）と、国内では民間最大の国際奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で 24,830 人（2025 年 7 月現在）。その出身国は、世界 134 の国と地域に及びます。また、奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。『世話クラブ』という言葉をよく耳にされるとおもいますが、簡単にご説明させていただきます。日本には約 2,200 のロータリークラブがあります。そのうち 1 つのクラブが、1 人の奨学生の『世話クラブ』となります。米山奨学生は世話クラブの例会に月に一回以上出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学ぶという目的がございます。そこで奨学金を受け取り、簡単な活動報告(生活面、学業面)をして頂き、クラブの親睦活動や奉仕活動などへの参加も促して頂けたらとおもいます。とにかく、奨学生を孤立させてしまはしないよう御配慮いただきたいのです。

### ～選考の流れ～

採用年の 4 月に在籍する学校(指定校)に申込書類を提出して頂き、指定校で 8 月～10 月にかけて被推薦者を選考します。学校の奨学金担当者に、Web 申し込みをしていただく流れとなっております。そこから、ロータリー地区の選考委員会で書類選考・面接選考が行われます(12 月～翌年 1 月下旬実施)。書類審査では研究計画書・小論文を事前に読み込み採点を行い、そのうえで面接審査に臨みます。また、米山奨学金は学生の経済状況ではなく、学業への姿勢、異文化理解、人と関わろうとする意欲といった資質を大切にする制度であることが示されました。これは米山奨学会が全国共通で示している基準であり、面接の信頼性を守るために欠かせない『面接委員の心得』というものを、選考させて頂く我々も学びます。

### ～寄付金の種類～

寄付金には普通寄付金と特別寄付金の 2 種類があります。

#### ・普通寄付金

日本の全ロータリークラブ会員からクラブを通じて定期的にいただく寄付です。各クラブで会員一人あたりの金額を決定し、半期に 1 度、会員数分をご送金いただきます。(日高クラブは年間 4,000 円/1 人を送金)

#### ・特別寄付金

個人、法人、またはクラブから、普通寄付金以外に任意でいただく寄付金です。ロータリー関係者以外の一般個人、法人、団体からもお受けします。金額にきまりはありません。いつでも、おいくらからでもご送金いただけます。当会への特別寄付金は、税制上の優遇措置を受けることができます。

表彰制度がございます。特別寄付金の累計額が対象です。個人の表彰ですと『準米山功労者(累計額 3 万円)』米山功労者(累計額 10 万円)以降 10 万円毎に表彰されます。

米山記念奨学生の受け入れ人数はロータリアンの皆様からのご寄付によって 2 年後の受け入れ奨学生の数が決まります。寄付額が多くなれば、受け入れ奨学生の数も増えて行きます。皆様からの善意ある普通寄付+特別寄付をお願い申し上げます。寄付額増額のため委員会として会員の皆様に米山記念奨学委員会の意義と活動をもう一度理解していただくために他の委員会と協力して広報活動等に力を入れて参りたいと思います。

出席報告	4月14日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	4/7 修正率
	昼間	22	12	2	10	55%	100%

### ニコニコボックス報告

12名 合計金額 16,000円 累計金額 392,000円